

旬花報

7号

発行 2009.3.31

群馬県立女子大学
同窓会事務局
370-1193 佐波郡玉村町上之手1395-1
TEL: 0270-65-8511
URL: http://www.gpwu.ac.jp/



学長
富岡 賢治



同窓会長
野村留美子

大学の变化

群馬県立女子大学は、大変活気のある大学として最近とみに評価を上げています。最近出版されたある刊行物では、我が大学は、国公立大学の中で、北大、筑波大、千葉大や首都大学東京、横浜市立大などと同格の極めて高いランクに位置づけられています。また大手予備校がまとめている入試の難易度は、国際コミュニケーション学部も文学部も旧帝国大学にはやや届きませんが、その一つ下の旧官立大学と同等の高いランクになっています。

大学の名前もまだまだ地味ではありますが、個性的な興味深い大学というイメージが急速に広まりつつあります。

これに伴い、優秀で活発な学生も更に多く集まってくるようになりました。静かで、真面目な学生が多いという大学のイメージが長い間定着してきましたが、それだけでなく、チャレンジ精神豊かな能動的な学生がどんどん増え、活性化された元気のよい大学のイメージが全国に伝わるようになってきました。同窓生の皆さんもぜひ今後を楽しみにしてください。



▲ダンス部、軽音楽部の大学祭でのパフォーマンス



群馬県立女子大学においても更新講習を予定していますので、母校でまた講義を受けてみたいという卒業生のご参加を心よりお待ちしております。

受講生の募集は、5月から6月にかけて実施します。

なお、平成21年度に開講する更新講習の受講対象者は、平成23年3月31日時点で35、45、55歳となる、現職教員、臨時任用（非常勤）教員、リスト登載者、過去に教員経験のある方等です。

平成21年度群馬県立女子大学教員免許状講習講座についての詳細は、下記のHPで紹介していますので、ご覧になってください。

<http://www.gpwu.ac.jp/ext/renew/index.html>

教員免許状更新制のお知らせ

教育職員免許法の改正により、平成21年4月1日から教員免許更新制が導入されます。

教員免許更新制とは、

- 平成21年4月1日以降に授与される教員免許状に10年間の有効期間が付く
- 教員免許状の有効期間を更新するためには、大学などが開設する免許状更新講習を30時間受講して修了しなければならぬというものです。

一方で、平成21年3月までに授与された教員免許状には従来どおり有効期間はありませんが、現職教員に限っては30時間の免許状更新講習の受講・修了が義務づけられ、年齢別に定められた所定の期限まで修了できなかった場合その教員免許状が失効することになります。



学長の話に熱心に耳を傾ける同級生たち

去る平成20年5月31日に県立女子大新館6階・研修室・コミュニケーションラウンジにて「第1回卒業生の意見を聴く会」が開催されました。

これは、卒業生の生の声を大学の教育に反映させることにより、大学教育の質の向上および改善を資することを目的としたもので、卒業生の代表として同窓会幹事を対象にした、大学主催の懇談会です。

当日は学長を初めとした大学関係者6名、同窓会幹事14名で、話し合いが行われました。学長から大学の新たな改革について紹介がありますが、新学科の設置、在学生の留学制度の充実など、本学の数々の改革について説明を伺いました。OBとして母校の躍進には目を見張るものがあり、同窓生からは「卒業した大学がどんどん発展していくのを知ることができて嬉しい」との声が多数あがりました。

同窓生からは様々な分野、特に文壇で活躍できる人材育成への要望も出されました。

◇次回は平成二十一年度で開催される予定です。

今年度の新たな試み「卒業生の意見を聴く会」

本学の卒業生 作家デビュー

「紅雲町」：群馬県出身の方はもちろん、他県出身の方でも、一度は耳にしたことがあるのではないだろうか。2004年の第43回オール読物推理小説新人賞に、本学の卒業生、吉永南史さんが書いた「紅雲町のお草」が選ばれました。文芸春秋主催のこの賞は、ミステリー作家を目指す方にとっては、登竜門の一つで、大変権威のあるものだそうです。受賞を含め、2008年1月に「紅雲町ものがたり」が出版されました。上毛新聞より、「著者に聞く」(2008年4月6日付)で紹介された、吉永さんの横顔を引用します。

北関東のある町で、コーヒー豆と和食器の店を営む主人公。ある日、店で小耳にはさんだうわさ話から近所のマンションの一室で、虐待が行われていることに気付く。そしてひとり探偵まがいの捜索を始める。

主人公の杉浦草は大正生まれ。元気で頭の回転が早く、愛らしさも持ち合わせている知的で、小粋なおばあちゃんだ。「昔からお年寄りの話を聞くことが好きだった。戦争中に、隣近所の人たちと助け合って、家族を守ったような人たち。たくましくもあるし、意外と柔軟でもある。若い人とも気さくに接してくれた」。こうした体験の

中から生まれたのがお草だ。

本書は、お草が出会った人々の物語を集めた連作短編集。お草の周囲にいる人々の物語を通して、高齢化社会や家庭内暴力、虐待、現代社会が抱える問題を描き出している。

オール読物推理小説新人賞の受賞作と、その後、新たに書き下ろした作品をまとめた初めての単行本だ。「初めは連作にするつもりはなかったけれど、出版社の方の熱意に押された。でも、一年くらいは他の物を書いて」と振り返る。

出版後、読者から「母を思い出した」「こんな店があつたらいい」などの感想が寄せられた。「お草は長く生きて、それなりの苦労もしている。だから人の気持ちも苦労も分かる。それでいて、現代的な感覚も持っているバランス感覚の優れた人。そんな所が書けたらいいと思っていた」

作品の舞台は架空の町だが、「紅雲町」の名称は前橋市に実在する町名を使った。「紅雲町」という響きがきれいだったから」と説明する。町のモデルとなったのは、現在住んでいる高崎市。「自分が住んでいる町の四季や感触を織り込みたかった」

六月には初めての長編小説で、ミステリー色の強い作品を刊行。「派手で破天荒な人がいたとしても、周囲にはその人を支えてくれる“普通”の人がいる。そして、普通の人であつても、心の中には熱いものを持つているはず。そういう人を書きたい」

「紅雲町ものがたり」は文芸春秋刊、1500円。

著書紹介



紅雲町ものがたり

文芸春秋刊 1,500円

オール読物推理小説新人賞の受賞作、「紅雲町のお草」の他、クワバラ、クワバラ・〇と1の間・悪い男・萩を挿らす雨が掲載されています。

主人公のお草は、和食器とコーヒーを扱う「小蔵屋」を営んでいます。「紅雲町のお草」では、お店で出会った人々や噂から、マンションの一室で虐待が行われていることを知り、解決するべく奔走します。他の作品でも、お草の周りの人々に起こる小さな事件や謎を次々と解決していきます。



誘う森

東京創元社刊 1,680円

主人公、洋介の妻、香映は一年前、突然自殺してしまいました。自殺の名所と呼ばれる森で、自殺防止のボランティア活動をしていた彼女が、なぜ自殺をしてしまったのか、納得のいかない洋介。洋介は、香映の実家の造り酒屋やボランティア先の教会など、あちこちを歩き回りながら、からまった糸を一つ一つ解いていき、少しずつ真相を暴いていきます。



生ロールケーキ

旬花報編集会議に集まって盛り上がる話題はやはり食べ物のこと。巷ではいろいろなロールケーキが人気のようですが、アラフォー世代の私たちが学生時代こよなく愛したのは、みよしの製菓の生ロールケーキ。蒸しパンのようにしっとり柔らかな生地、あっさりミルキーな生クリーム。ロールケーキといえばスイスロール位しか知らなかったワタシにはそれは衝撃的な美味しさでした！同窓会の懇親会にだされたこともあったつけ。今でもまだ健在。ああ、食べたくなってきました・・・。

ほっとくらむ
懐かしの
生ロールケーキ
(みよしの製菓)

平成20年度 予算

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥1,125,881	広報費	¥ 200,000
20年度学部入学者入会金	¥ 422,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 50,000
20年度分会費	¥ 500,000	紫桜会入会記念バッジ	¥ 75,000
		事務用品(PC備品含む)	¥ 100,000
		H21年度懇親会準備金(郵送費含む)	¥ 500,000
		郵便・郵送費	¥ 400,000
		振込手数料	¥ 10,000
		会議費	¥ 30,000
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		ホームページ年間管理更新費	¥ 100,000
		諸経費(錦野祭差し入れ)	¥ 4,000
		(支出小計)	1,499,000)
		予備費	¥ 548,881
合計	¥2,047,881	合計	¥2,047,881

平成20年度 決算(案) 平成21年2月28日現在

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥1,125,881	広報費	¥ 157,690
20年度学部入学者入会金	¥ 442,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 50,000
20年度分会費	¥ 400,000	紫桜会入会記念バッジ	¥ 78,750
		事務用品(PC備品含む)	¥ 9,673
		H21年度懇親会準備金(郵送費含む)	¥ 500,000
		郵便・郵送費	¥ 382,243
		振込手数料	¥ 1,405
		会議費	¥ 37,502
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		ホームページ年間管理更新費	¥ 66,550
		諸経費(錦野祭差し入れ)	¥ 7,030
		(支出小計)	¥1,320,843)
		予備費	¥ 647,038
合計	¥1,967,881	合計	¥1,967,881

平成21年度 予算(案) 平成21年2月28日現在

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 647,038	広報費	¥ 200,000
21年度学部入学者入会金	¥ 460,000	企画費(紫桜賞等)	¥ 50,000
21年度分会費	¥ 500,000	紫桜会入会記念バッジ	¥ 80,000
		懇親会補助金(郵送費含む)	¥ 200,000
		事務用品(PC備品含む)	¥ 70,000
		郵便・郵送費	¥ 400,000
		振込手数料	¥ 10,000
		会議費	¥ 60,000
		事務補助員報酬	¥ 30,000
		ホームページ年間管理更新費	¥ 100,000
		諸経費(錦野祭差し入れ)	¥ 10,000
		(支出小計)	¥1,210,000)
		予備費	¥ 397,038
合計	¥1,607,038	合計	¥1,607,038

平成20年度 活動報告

月日	活動内容
20.4. 3	会長入学式出席・入学記念品贈呈・「紫桜賞」表彰
4.26	役員会議・幹事会案内発送作業 「旬花報」[年会費納入通知発送]
5.31	平成20年度幹事会・総会
6.22	役員会議・幹事会議事録発送作業
7.12	第1回広報委員会
9.23	役員会議
11.16	「紫桜賞」募集、支援金決定
21.1.10	第2回広報委員会
2.13	「紫桜賞」選考会議
2.28	第3回広報委員会
3.23	会長卒業式出席 役員会議 入学記念品「バッジ」袋詰め作業

平成21年度 活動予定(案)

月別	活動内容
20年 4月	入学式出席・入学記念品贈呈・「紫桜賞」表彰 役員会議・幹事会案内発送作業 「旬花報」[年会費納入通知発送]
5月	平成21年度幹事会・総会
6月	役員会議・幹事会議事録発送作業
10月	「紫桜賞」募集、支援金決定
11月	役員会議、広報委員会
11月(12月)	懇親会
22年 1月	役員会議
2月	役員会議・「紫桜賞」選考会議 広報委員会
3月	卒業式出席

補足「卒業準備金 預かり制度」発足に伴う預かり金について

預かり金額	期	預けに来た人	預かった日
¥ 88,527	17	国文学科 竹野あゆみ	2001. 3. 18
¥ 70,000	13	国文学科 齋藤 恵	2001. 9. 11
¥ 98,916	18	美学美術史学科 野手 千歌	2001.11. 2

通帳(群馬銀行 玉村支店)にて管理

学生支援金 平成21年2月28日現在

収入の部		支出の部	
前年度より繰越金	¥ 154,475	支援金として	¥ 100,000
20年度支援金	¥ 235,000	(ダンス部・軽音楽部に各50,000円)	
		次年度繰越金	¥ 289,475
合計	¥ 389,475	合計	¥ 389,475

紫桜賞は 『第27回錦野祭実行委員会』 に決定致しました。

第27回錦野祭実行委員会

活動内容

多数の1年生を加えての総勢87名という大所帯での学祭運営にもかかわらず、メンバーとの結びつきを強化し、互いの切磋琢磨により優れた組織運営を実現させた。

今しかできない華やかな大学祭を目指し、強力なリーダーシップと調整能力を駆使し、昨年度の錦野祭をさらにグレードアップさせ、成果を大きく前進させた。

今年度の支援金は

ダンス部軽音楽部大学祭パフォーマンスのために
各部5万円づつ給付させていただきました。

昨年度、大学祭で

他大学へ呼びかけての大会を開催した2団体へ、

今年度も引き続き支援することになりました。

女子大の退任を迎えて

美学美術史学科教授 前田利昌

美学美術史学科に教員資格取得に向けて実技科目が導入されると同時に、絵画部門の担当として私が採用されました。昭和63年（1988年）のことです。赴任した当初、実技棟はまだなく、採用されるのが決まるとまもなく、デッサン室、彩画室、版画室などの細部に關して意見を求められ、設計の一部に加わるということがありました。一般住宅同様使い勝手のあれこれは、やはり何年か経つうちにいろいろと生じてくるもので、あの時ここをもう少しこうしておけばよかったです。ところがいくつもあるのも事実です。

平成2年3月実技棟が完成しました。1階のギャラリーでは、学生たちは制作するだけではなく、自作を展示し、人に観てもらおうという喜びを体験するようになりました。そうしながら制作意欲を増していったようです。多くの学生が実技を学び、卒ゼミ生も年を追うごとに増えてきました。

2月6日、私の最終講義に懐かしい顔があちこちにありました。20年前の卒業生をはじめ、これまでの実技ゼミを出た卒業生が大勢集まってくれました。本当に久しぶりの感極まる再会でした。私はこの大学で指導する喜びを知り、また時には、学生たちの斬新な発想に驚かされたり、刺激を受けたりもしました。永年務めてこられてよかったと思います。最終講義の後開かれたパーティー会場の壁に、大きな文字で「ありがとうございました」とありましたが、私も心から「ありがとう」を言います。



本学の思い出

国際コミュニケーション学科教授 稲野 強



本学には25年間、四半世紀お世話になりました。当初は文学部の一般教育課程で、西洋史を教える教員として採用され、その後学科の再編成で英文学科に所属しました。4年前に新設の国際コミュニケーション学部に移り、2期4年間、学部長を務めてきましたが、第1期生がこの春卒業するのと同じ時に大学を去るというのも、幸せなめぐり合わせです。

正直、選任を過ぎて新学部の準備・開設に携わるとは予想外でした。私には事務能力も指導力も備わってはず、不安でしたが、そこはよくしたもので、明るく、タフで能力の高い同僚たちに支えられ、励まされ、何とか役目を終えることができました。

この新学部の開設とともに忘れられないのが、1989年4月から1年間、日本学術振興会の在外研究員としてウィーン大学とプラハ大学に留学したことです。この年に現代史の節目である「東欧革命」が勃発しました。千載一遇の好機とばかりにハンガリー、東ドイツ、ユーゴなど東欧諸国を頻りに歩き回りました。それまで頑なに閉ざされていた国境がいとも簡単に開き、国家が解体する様を間近に見るといふ貴重な体験をしました。今後は本学で得た教育・研究と外国見聞の経験を活かし、西洋史の醍醐味と大切さを若い人達に語り伝え、これまで手掛けてきた東欧史研究を続ける仕事をしていきます。幸い少年時代の放浪癖が健在で、調査と趣味を兼ねた外国一人旅に思いを馳せています。

退任を迎えて

英文学科教授 長沼清太郎

2009年2月13日（金）、後期試験最終日でしたが、4時限に、ゼミ3年生との最後の授業を行いました。授業後、ゼミに関係ない人も含む4年生が教室に入ってきて、これまでどこでも見たこともないような大きな花束を渡してくれました。先生、一言と言われましたが、言葉がありませんでした。

1980年4月、今の可愛い木下先生と同じ35歳の時に赴任して以来、29年が過ぎ去りました。理屈では必ず来ることは分かっていたのですが、実感としては正直、この日が来るとは思っていませんでした。好きな英語と文学の勉強を若い学生と一緒にできる、というこの上なく幸せな仕事を生業にすることができたためであるに違いありません。

途中、親しくさせてもらった英文の山本先生、国文の佐藤先生を痛で、学生を交通事故で失うなど、とてつもなく悲しい出来事にも会いましたが、学科、ゼミの卒業生が様々な分野で活躍してくれていることを思えば、この29年間も悪くはなかったと思っています。自分の娘、大学での娘たちを育てる仕事は終わりました。これも人生の一通過点でしょう。これからは、英文学の勉強は続けながらも、孫たちを育てることを中心に、新たな生活を楽しみたいと思っています。



同窓会費の口座番号をお知らせします。郵便局民営化のため、他銀行からも振り込めるようになりました。振り込み用紙以外で振り込む方は、左記の口座にお願いします。

みなさまのあたたかいご協力をよろしくお願い致します。

口座番号

ゆうちょ銀行

059店 当座00196825

群馬県立女子大学同窓会

(一口 1,000円)

編集後記

今年度より、広報委員長を拜命することになりました。限られた時間の中で作業、遅々として進まず、本部役員、ならびに広報委員の皆様にはご迷惑をおかけしましたが、なんとか形になりほっとしています。

今号では2面に、吉永さんの紹介をさせていただきます。2冊とも群馬県を舞台にしていますので、同窓生の皆様にはなじみ深いのではないのでしょうか。ストーリーのおもしろさに加えて、楽しくお読みいただけると思います。

今回の編集作業に当たり、大学時代のゼミ仲間、Yさんには大変お世話になりました。

日ごろご無沙汰しているのに、快く手伝っていただき、大変感謝しております。学生のごと同様、相変わらずの「困ったときの友達頼み」です。でも、今回改めて、大学を介しての、人と人とのつながりのありがたさを実感しました。素敵な仲間との出会いや楽しい思い出を作ってください。大学に、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、楽しく和気あいあいと活動していきたいと思っています。

(A・I)